



2022年4月26日

No.1

ふたば園では、豊能町の自然の豊かさを感じられるように、4年前からさまざまな体験や活動を積み重ねてきました。今年度も生活やあそびの中で、「豊能町に住んでいてよかった」と思えるような活動を続けていきたいと考えています。保護者の皆さまにも子どもたちが豊能町の自然をどのように楽しんでいるのかをお知らせするために“ふたばっこだより”を発行しています。お家でお子さんの話を聞きながら、おたよりを読んでくださいね。



『みみずのちから』～みみずマンションの土をかえました～

ふたば園では、しまみみずを飼っています。しまみみず（釣りの餌になっているもの）は、食べ物を分解し、土の環境を整え、排泄物は植物が育つ栄養となります。例年みみずの当番活動として、ぱんだ組が続けてきている取り組みです。子どもたちにとっては、「環境学習」「科学への興味」の一步になったり、当番活動を通して友だちと協力することを知ったり、ルールがあることを学んだり・・・とたくさんのことを学習できます。自然とのかかわりを深め、生命の尊さにも気づいてほしいと願っています

今回は、新しい土にみみずを引越しました。虫が大好きな子どもたちにとっては目がキラキラ！土の中からみみずを見つけ出すことに夢中でしたよ。「触りたくない」「ちょっと怖い」と逃げ腰の子も、徐々にそーっと触れるようになったり、触れなくてもじっと覗き込んだりなど、貴重な活動となりました。古い土は畑に入れて混ぜ込み、夏野菜を植える予定です。



これがみみずマンション！
一番上に野菜や果物を入れてあげると、一番下に『みみずのちから』がたまっていきます。
みんなが育てる野菜や花の栄養になるんだよ！

「きりん組の時は嫌やったけど、今はかわいい～！」
「たまごも見つけたよ！」



みみずの液肥をペットボトルに詰めて『みみずのちから』を作っています。玄関に置いてありますのでご自由にお持ち帰りください。野菜、花、観葉植物などに5～10倍に薄めて使ってください。